



笑顔いっぱい かがやく入谷っ子

学校の様子

毎週金曜日の昼休みに児童会の人たちが学校の様子を放送します。安全安心パトロールの中で、気づいたことをまとめて発信してくれます。先週の金曜日は、新児童会になった4年生が原稿を書き、4年生が放送していました。6年生が放送室に4年生と一緒に入るところが目にとまり、様子を見に行くと、4年生が安心して放送できるように声をかけたり、放送の操作の手助けをしたり、放送がきちんと聞こえているかどうかを確認してOKを出したりと、たくさんのフォローをしてくれていました。慣れない4年生は、不安な気持ちもあったことと思いますが、6年生の温かさに囲まれて安心した気持ちで自分の役割に向き合うことができたと思います。

6年生が支えてくれている姿は、下学年に引き継がれていくことと思います。明日は6年生を送る会が予定されています。各学年が6年生への感謝をどのような形で表現していくのか準備をしています。素晴らしい会になるだろうと思っています。

先日、大きな模造紙を持った2年生の子供たちが6年生の教室に行こうとしているところに出会いました。大きな模造紙には、6年生へ伝えたい思いが書かれていました。2年生と支援学級が使用している2階のトイレを6年生が掃除してくれていることもあり、様々な思いをメッセージにまとめた素敵なものでした。

卒業に向けて6年生の各クラスでカウントダウンが始まっています。学校の中は、

6年生へ気持ちを向けて過ごしている様子があります。温かな空気が流れています。

幻のきなこ

先週の給食で、きなこあげパンが出ました。あげパンに使ったきなこは、座間市の農家の方が大切に育てた大豆から作られたものでした。今回の大豆は、津久井在来大豆で、「幻の大豆」と言われ、時間をかけ、手間をかけ、大切に育てられたものです。きなこにしたらとても美味しかったということで、座間市の子供たちへ食べてもらいたいという農家の方の思いから実現したメニューです。実際に甘くてとても美味しいきなこでした。

提供されたきなこは、調理員たちが、こがさないように丁寧に炒って、それを学校で揚げたパンにまぶしていくという過程を経て、子供たちのところに届きました。

給食前、子供たちが「今日はあげパンだ。きなこがついている。」と嬉しそうに話しながら手洗いをしていましたが、子供たちの笑顔を支えている多くの人たちがおられることに感謝したいと思います。

お昼の放送では、栄養教諭からの話に続き、農家の方からもお話をさせていただきました。食に対する子供たちの心も育てていく大切な時間となりました。

子供たちの命を支える食。食を通して、地域への理解、食文化の継承、自然の恵み、食を支える様々な人たちへの思いに触れる事を大切にしていきたいと考えています。今後も、食に対する豊かな思いを育てていきたいと思っています。